
岐阜県立岐阜農林高等学校

学校長

谷 基

学校住所

本巣郡北方町北方 150

電話 058-324-1145

- 1 会議名 令和3年度 岐阜農林高等学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和3年6月7日（月） 書面開催
- 3 参加者 委 員 村田 明治 岐阜市立岐阜西中学校長
戸村 和夫 本巣市立糸貫中学校長
河合美佐子 北方町立北方中学校長
三村 夕子 大垣共立銀行柳津支店長（欠席）
住田眞佐子 北方町民生委員
伊藤 智美 本校育友会長
学校側 谷 基 校長
水野 泰孝 教頭
村上 宏俊 教頭
中山恵美子 事務部長
大坪 尚子 教務主任
荻田 重睦 生徒指導主事
川島 茂樹 進路指導主事
辻 浩幸 農場長

4 会議の概要（協議事項）

- (1) 学校運営協議会の設置運営について
- (2) 令和3年度 学校運営協議会 開催要項について
- (3) 令和3年度 岐阜農林高等学校 学校運営協議会組織について
- (4) 令和3年度 教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）について
意見1：持続可能な社会を担う人材の育成を目指す中で、「生命」と「心」と「夢」を育てる学校という明確なビジョンがあることがわかりやすい。「夢」に向って多方面からアプローチできるのもよさの一つだと感じる。
意見2：農業高校ならではの特色を生かした教育活動をもとに「豊かな心をもつ自立した人間」を育てようという経営方針がよくわかった。
- (5) 令和3年度 分掌の目標について
意見1：時代の流れに伴い、教育内容や方法も変更を予儀なくされている。教育は不易と流行

というが、両方をバランスよく指導に生かしていくことに苦勞されていることと推察する。

意見2：中学校へ来る時も礼儀をわきまえた言動ができる。こうした言動がとれるのは、将来の自分について考え、やらなければならないことに向かって努力できているからではないかと考える。

意見3：キャリアパスポートの活用は小中学校でも導入が始まったところである。高校においてそれが引き継がれ、進路実現に向け活用されることを期待する。

(6) 教職員の働き方改革プラン2021の取組について

意見1：生徒にとって必要なことを、限られた時間の中でどう実施していくかが難しいところである。ただ若い教員にとっては、自分をどうマネジメントしていくのがこれからの課題だと感じている。

意見2：子ども達と関わる時間については、長さよりもお互いの人間関係の構築が鍵だと思う。

意見3：先生が疲れて暗そうにしていると、生徒も声をかけにくい空気になってしまうので、このまま教員の働き方改革を続けてほしい。

意見4：課題研究の個別指導等、時期によっては時間外勤務が増えることがあると思う。そういった繁忙期は他の業務を減らすなどして心身の健康が保たれるようにしてほしい。

(7) 活躍する生徒について

意見1：農林高校だからこそ実現できる地域や社会に視野を広げる活動や、ふるさとを誇りに思える活動に意義のあることが生徒達の表情からうかがえる。

意見2：生徒の可能性を引き出す指導や地域と連携した取組により、自己有用感の高まりがうかがえる。また、それが、次の活動につながるというよいサイクルができているように思う。

5 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。

コロナ禍であるものの、第2回は学校での開催とともに、委員に来校してもらい、生徒の姿を見たらうで議論や意見交換を行っていきたい。